

航空機稼働時間等調査票（第 1 号様式） 記入要領

調査の目的

この統計調査は、我が国における航空機使用事業の稼働状況の実態、国内航空運送事業（定期航空運送事業を除く。）の稼働状況の実態、航空機使用事業及び航空運送事業に用いた航空機による燃料消費量の実態を明らかにすることを目的としています。

本調査結果は、航空輸送統計として取りまとめられ、航空行政の企画・立案の基礎資料として使われるとともに、一般にも公表され、広く活用されております。

調査の対象

航空法第 100 条に基づく航空運送事業者及び同法第 123 条に基づく航空機使用事業者を対象としております。（悉皆調査）

調査期間及び報告期日

毎月、1 日から始まる 1 か月間の実績について、翌月末までに報告して下さい。

記入上の注意

- ・ 報告の対象となっている年月を調査票の表題下部に記入して下さい。
- ・ 事業に使用した航空機が所有又は貸借のいずれであっても全て対象とします。
- ・ 飛行機には、飛行船を含むものとします。

1 使用事業稼働時間

- ① 航空機使用事業（有償）の稼働時間について、調査票の分類ごとに「時間：分」で記入して下さい。
- ② 1 回の飛行で複数の目的を兼ねた場合、主となる目的により区分して下さい。

2 国内航空運送事業稼働時間

- ① 定期を除く国内航空運送事業（有償）の稼働時間について、調査票の分類ごとに「時間：分」で記入下さい。
 - ② 「建設協力」欄は、建設工事用の資材又は人員の輸送について記入し、送電線の架線作業等については、「使用事業稼働時間（その他）」に記入して下さい。
 - ③ 1 回の飛行で複数の目的を兼ねた場合、主となる目的により区分して下さい。
- ※ 国内定期航空運送事業の輸送実績については、第 2 号様式により、国際航空運送事業の輸送実績については、第 3 号様式により報告して下さい。

3 燃料消費量

- ① 事業に使用した航空機により消費した燃料について、調査票の分類ごとにキロリットル単位（単位未満は、四捨五入）で記入して下さい。また、無償飛行による燃料消費量についても「無償」欄に記入して下さい。